

20年新年会を挙行

甲府市管工事協同組合



齊藤代表理事



樋口市長

甲府市管工事協同組合(齊藤鉄也代表理事)は2020年新年会を甲府市内のホテル談露館で17日に開催した。

来賓には樋口雄一甲府市長、山梨県中小企業団体中央会の千野進副会長などが出席。新年会の前には合同会社マーケティングデザインラボの地下貴之代表を招き「業種に寄らないキャッシュレス決済の進展」と題した講演会が行われた。



鈴木篤議員の音頭で乾杯した

会の冒頭に齊藤代表理事が「組合では地震の災害を想定したBCPを策定しており、模擬訓練の結果をもとにBCPの精

度を高めてまいりたい。ことしも組合が丸とった運営にご協力をお願いします」とあいさつした。

山梨県中小企業団体中央会の堀内修課長は「ことしは昨年までに築き上げた経営基盤を生かして新たな取り組みにつなげることにふさわしい年。組合員の方々の取り組みを支援してまいりたい」と話した。

午後3時45分から開かれた下地氏の講演においては、キャッシュレス決済の種類や各国の推進状況、導入メリットとデメリットを紹介。県内の建設事業者が実際に導入する事例に触れると「きっかけはお客様からのニーズ」と説明。今後の予測として「導入しているこ

どの周知が課題だが、売上の伸びや回収リスクが軽減できる」と話していた。

講演会終了後の午後6時から新年会が開かれた。来賓あいさつで樋口市長は「組合の皆さまには市総合防災訓練への参加や福祉施設の点検ボランティア実施に感謝します。市民の安心安全や日常生活向上に今後もお力添えをお願いいたします」と述べた。

甲府市議会の鈴木篤議員の音頭で出席者全員で乾杯すると、親睦の輪が広がった。

駅自由通路整備 録画機器を設置

山梨市

山梨市はJR山梨市駅・南北自由通路の監視カメラ画像を記録する録画機器を設置する。すでに業者に指名通知をしており、今月30日に入札を実施。来月にも設置を進める。

今回導入するのは録画機器のみで、カメラについては同通路の整備工事と併せて設置している。同通路は3月の一部供用を予定している。